



ゆたかっ子

令和2年度
 学校だより12月号 ⑨
 豊見城市立ゆたか小学校
 豊見城市字豊見城601番地1
 TEL850-663 FAX850-3940
 校長 宮平 やすみ

夢実現！キャリア教育講演会

甲子園春夏連覇投手
 島袋洋奨（興南学園）を招いて

将来の夢をかなえるために、日ごろから今できることを考え、目標を達成するための見通しをもつことができるように「キャリア教育」を重視した教育活動が求められています。日々の授業や行事でも、つねに目的をもって試行錯誤しながら協力して問題解決に取り組み、目標達成する喜びを味わわせることを意識して取り組んでいます。6学年では、夢を実現した先輩から直接お話を聞くキャリア教育講演会を実施しました。今回の講師は、10年前の甲子園球児の一人「島袋洋奨氏」。あの春夏甲子園を制覇した優勝投手です。ご存知の方も多いと思いますが、当時、6年生はまだ2才。でも、事前に感動的な優勝の瞬間を動画で見せたことで子ども達の期待も高まったようで、真剣に話に耳を傾けていました。高校選択の決め手は「指導者（我喜屋監督）の指導方針」だったそうで、野球以外のことで人間性を磨く教えが自分には一番合っていると思ったということでした。キャリア教育担当の先生からは、入学してきた生徒の様子から言える「成長する人の共通点」は「早寝・早起き・朝ごはん（つまり自分の生活をコントロールできる人）」「宿題をしっかりとやる（つまり目の前の課題から逃げずに努力する人）」「人の話が聞ける（つまり人の話を聞いて反応する素直な人）」というお話を聞きました。

講演の後半は、6年生を代表して野球部の瀬長侑士さんが島袋投手とストライク3球勝負で盛り上がりました。実際の経験から得た教訓には説得力があり、子ども達にとって貴重な学びになったことでしょう。



ぼくは、島袋さんの話を聞いて、夢は今すぐ決めずにゆっくり決めても大丈夫とか、すごい人になりたいなら当たり前前のことができるようにならないといけない等、いろいろな事を学ぶことができました。ぼくも当たり前前の事をがんばって将来にかのすごい人になりたいです。**相野谷クリステアヌ**

一回戦で負けた時に「自分の短所を指てきされ、くやしいよりうれしかった」と聞いて、本当に野球が好きなんだなと思いました。二つ目は、自分の限界を知ることです。プ口に入って周りの選手についていけないことを知って引退し、教員を目指しているので素晴らしい人だと思います。

久保田 真苗

「夢」があることは、すごいんだということが分かりました。夢はいろいろなものにつながって、それを実行する人は、もつとすごいことが分かりました。「甲子園で負けると思った試合も仲間がまだあきらめていなかったから勝った。」と言っていました。私にも夢があるので叶えられるようにがんばりたいです。

仲間 愛

私は島袋さんの話を聞いて分かったことがあります。一つ目は、努力すれば夢はかなうことです。高校二年生の夏、

興南学園の話を聞いて、小学校と中学校の大きな違いが分かりました。中学校でどんな子が伸びるかも分かりました。「勉強をしっかりとする子」「早寝早起きをする子」「人の話をしっかりと聞く子」です。島袋投手から、「夢に向かってコツコツと努力し、目標に向かってがんばるといい。」と聞きました。甲子園の話聞いて、夢に向かうことは大変だと思いました。これからのことに役立つ話をたくさん聞けたので、生かしていきたいです。

糸数 陽香莉

いつやってくるかわからない災害、今年度初の避難訓練！

突然、大地震がやってきたら…災害はいつどんな状況下で起きるかわかりません。コロナ禍であっても、やはり「備えあれば憂いなし」です。1年生にとっては、初めての避難訓練でした。訓練だとわかっている先生も子ども達も緊張しているようでした。地震の揺れを感じたらすぐに机の下に頭をもぐらせて揺れが収まるまで待ちます。先生の指示をよく聞いて、安全な場所へ避難！1学期から定期的にいろいろなルートで外に出る「避難経路下校」の練習を生かして運動場へ！担任以外の教員は、逃げ遅れた子がいないかを確認、チェックカードを校長へ渡し、全員の避難を確認したら最後に校長が避難します。運動場では、教頭が児童の避難完了を確認し、担任は、保護者への引き渡しカードを受け取ります。今年度の引き渡し訓練は、雨のため中止になりましたが、できる状況が来たら実施したいと考えています。

学級では、事前指導や事後指導で地震や津波から命を守る行動について、映像資料を通して理解を深めました。振り返りの感想には、一人一人が自分の命の守り方や家族との約束など、様々な視点でたくさんの気づきが書かれていました。大切な命を守るために、「沖縄でも大きな地震が起こり得る」ことを今一度自分の事としてとらえ、備えておかなければならないと思いました。



地しんは、せんそうとちがって、しぜんがおこしたものだから、人間はかてないと知りました。だから、自分のみは自分で守りたいと思いました。地しんのときは、海や川にちかづかなようにしたいです。
二年 近藤しゅうか



ひなんビルはつねにおぼえた方がいいとわかりました。なぜなら、つなみがきたらにげられないからです。家ぞくのでんわばんごうもおぼえた方がいいとわかりました。
二年 山下そうし



ふりかえり「命を守る行動について」

ようこそ、校長室へ ～おそうじ編～

「校長室のドアの掃除をしてみました！」と、4年生の大城陸斗さん、畑崎颯真さんが、ぞうきんとバケツをもってやってきました。2人で協力して、ドアの格子の部分にたまったホコリをきれいにふいてくれました。普段のおそうじ時間にはなかなかできない部分だったので、とても助かりました。ありがとう！12月は、普段できない場所にも気づいて、学校をもっときれいにしたいですね。



最近、かけざん九九を合格した2年生が続々とやります。全員来てね～！

“感謝”草刈りボランティア “忙しい保護者に代わって、私たちが力になりますよ！”

毎週月曜日に、地域の方が植樹祭で植えた木々の回りに伸びた雑草を抜いてくれています。2名でスタートしましたが、一緒に活動できる方を募っているそうです。学校を取り巻く地域の輪を広げていけるといいなと思います。



毎週月曜日
午後一時～三時
県道七号線側フェンス沿い